



Title	<図書紹介>日野永一著(日本の技術)木工具の歴史
Author(s)	高井, 一郎
Citation	デザイン理論. 1989, 28, p. 119-119
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/52548
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

図書紹介

日野 永一著

(日本の技術)——木工具の歴史

今回、日野永一氏著による「木工具の歴史」が刊行された。これは「日本の技術」第一期全10冊の第7に当るものであるが、「日本の技術」シリーズは日本産業技術史学会の監修によるもので、『現在世界のトップレベルにある日本の産業技術について、その伝統的技術背景や近代以降の発達・発展の経緯を、全分野にわたり、ビジュアルな要素も多く取り入れて分り易くエンサイクロペディア的なものを目指したものである。』——日本産業技術史学会長 吉田光邦氏の紹介文より——

さて本書は、第1章 斧の出現、第2章 古代の木工具、第3章 絵巻物に見る木工具、第4章 木工具の技術革新、第5章 木工技術の精巧化と木工具の分化、第6章 近代の大工道具から成り、原始から現代に至る一貫した木工具の歴史書となっている。

それぞれの章は明晰な説明と出典、及び明瞭な挿絵を含み、研究者にも一般読者にも強い興味を持たせるであろう。例えば第3章などを見ると、道具そのものだけでなく、その使い方、職人その他の風俗、用語の意味するものなど、深い関心をよび興される。

又本書はそれらの歴史的な考察を現時点とにらみ合わせながら記されており、著者が歴史研究に止まらず、現代の技術やデザインのあり方に鋭い問い合わせをなしていることが明らかである。

(高井一郎)